

エコフィードの飼料利用試験を開始

－乳牛がエコロジーに協力！－

エコフィードは、食品製造業や外食産業等から大量に廃棄される食品製造副産物、余剰食品、調理加工残さ等を原料として加工処理したリサイクル飼料のことで、資源の有効活用の面からも食品残さの家畜飼料化が求められています。

畜産センターでは、今回、京都大学と共同で、うどんや醤油粕など6種類の残さを原料とし、長期保存が可能な発酵飼料であるサイレージに調整したエコフィードを乳牛に給与する試験を行い、給与技術の実用化を目指しています。



集めた原料をサイレージ調製し、10月から給与試験を行います。

畜産センター

